

第35回大阪市廃棄物減量等推進審議会
次 第

日 時 平成19年4月19日(木)午後2時から

場 所 大阪市環境局12階 第1会議室

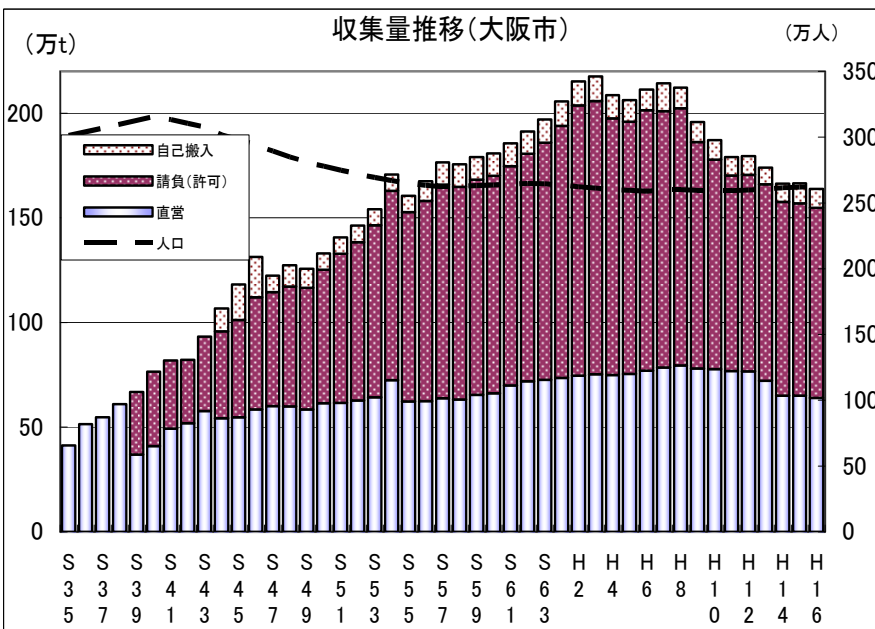
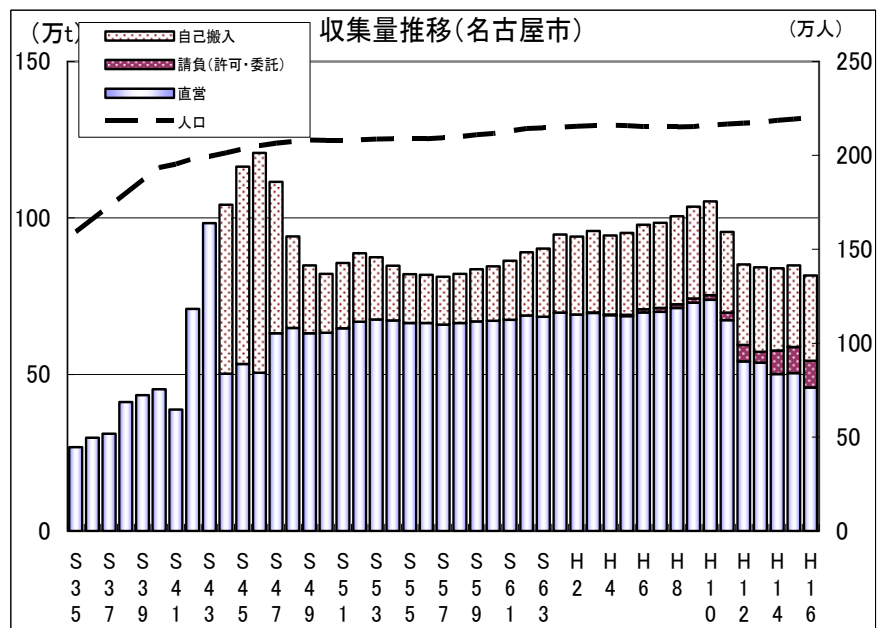
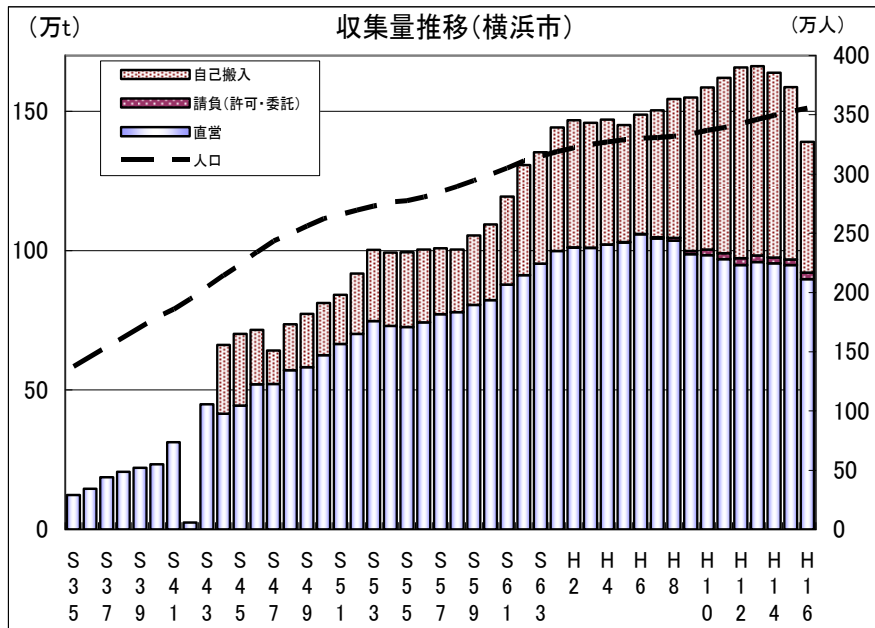
議 題 大阪市の排出事業者の現状等について

第35回 大阪市廃棄物減量等推進審議会

資料 1

- ・ 政令市(横浜市・名古屋市・大阪市)のごみ量推移(S35～) P1
- ・ 政令市におけるごみ処理量(平成16年度) P2
- ・ 大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等 P3
- ・ 1建物あたりの排出量と資源化率(用途別、紙類・他別) P4
- ・ 大規模建築物における品目別ごみ発生量等 } P5～18
- ・ 大規模建築物における資源化状況 }
- ・ 大規模建築物における廃棄物の状況把握について P19
- ・ 大規模建築物における廃棄物の状況把握に係る具体事例 P20

政令市（横浜市・名古屋市・大阪市）のごみ量推移（S35～）

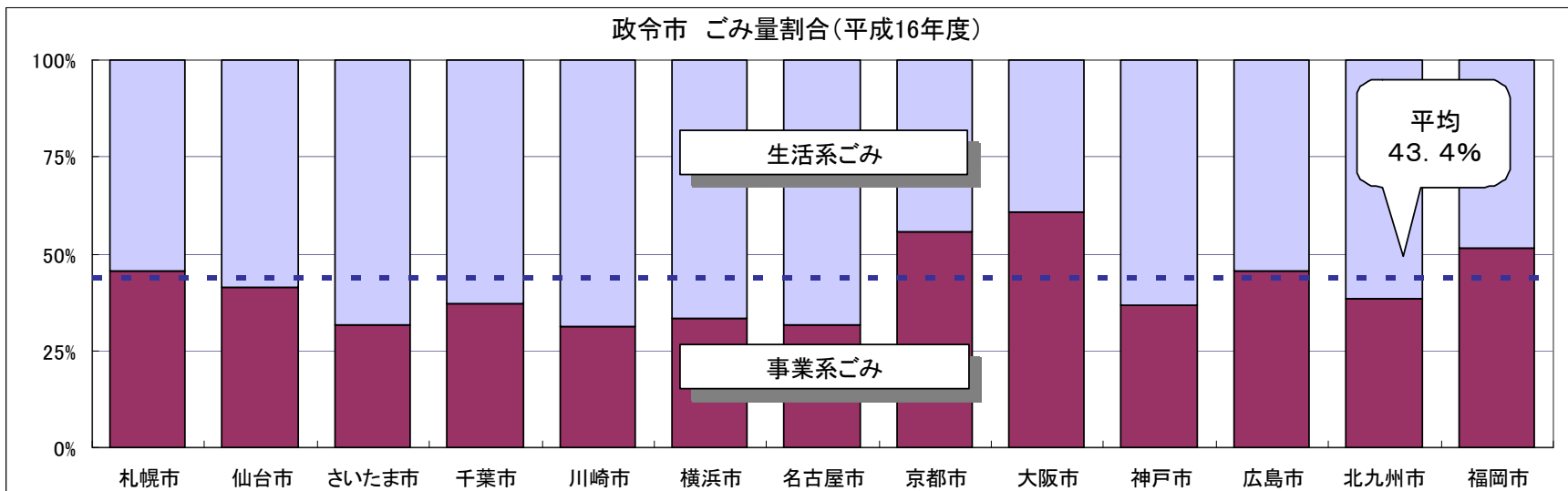
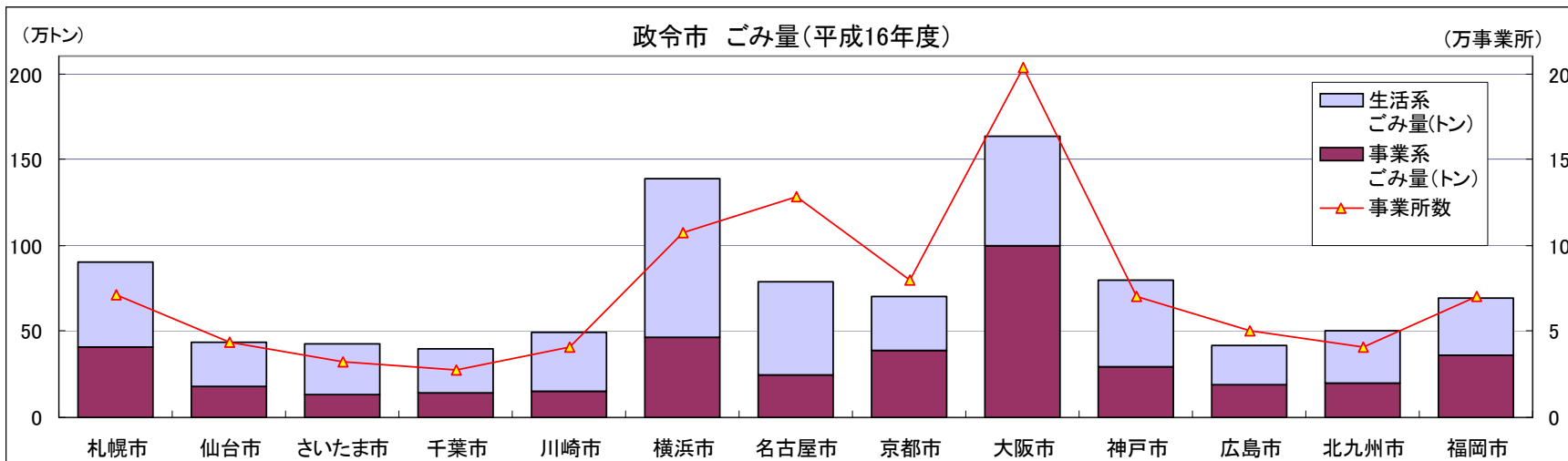


- ・ 名古屋市のごみ量は、昭和45～47年に大きな変動がある。
- ・ 横浜市は、平成15年1月から「G30」の取組み（資源物や解体木くず等の焼却工場受け入れ禁止）

大都市比較統計年表(大都市統計協議会)より

政令市におけるごみ処理量

事業所の多い政令市においては、ごみの総排出量に占める事業系ごみの割合が高く、平均では約4割が事業系ごみとなっている。政令市で最も事業所数の多い大阪市では、事業系ごみの割合が約6割に達している。

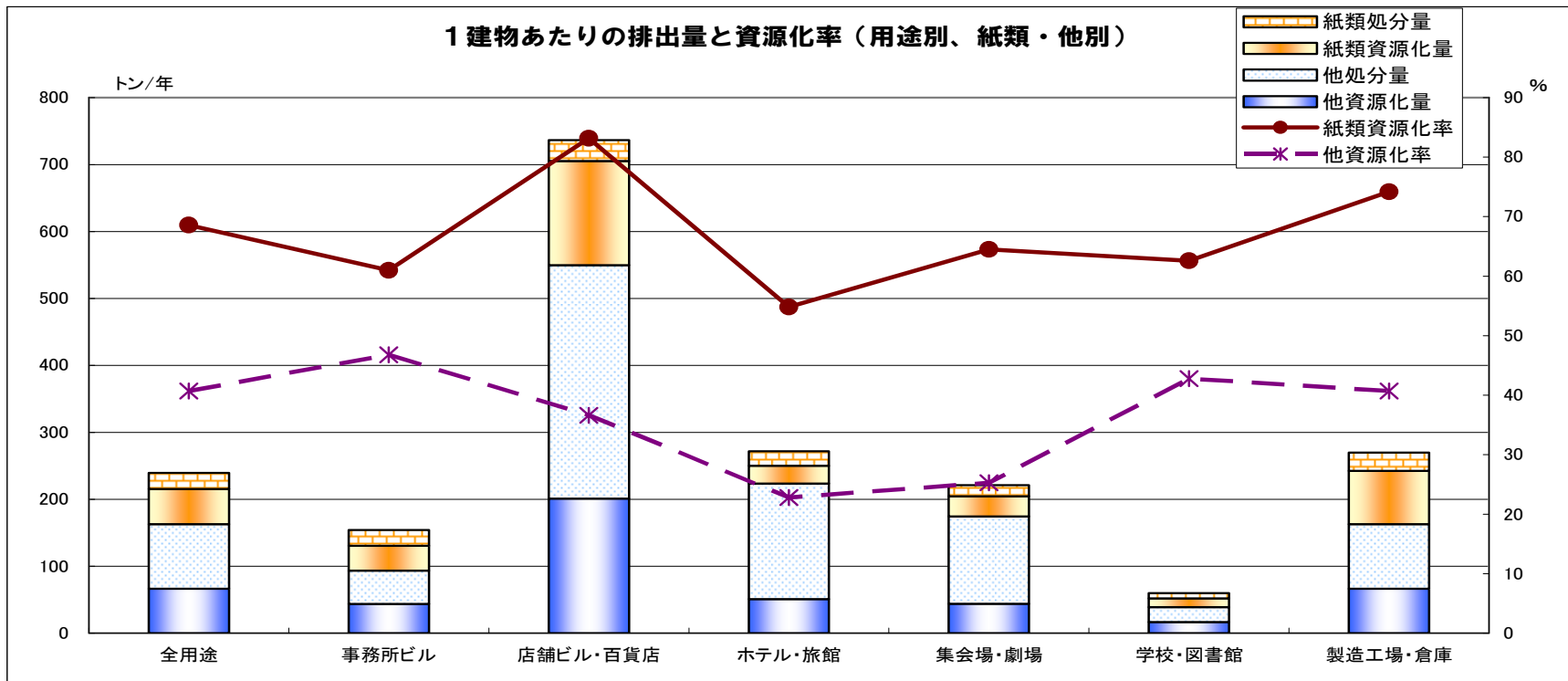


大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等

資源化量は年々増加しており、資源化率についても安定しているが、建物用途別では、資源化率に差異が生じている。(製造工場・倉庫の資源化率が最も高い)

(平成17年度実績を修正)

年度 建物用途	平成15年度				平成16年度				平成17年度			
	件数	ごみ発生量(トン)	資源化量(トン)	資源化率(%)	件数	ごみ発生量(トン)	資源化量(トン)	資源化率(%)	件数	ごみ発生量(トン)	資源化量(トン)	資源化率(%)
事務所ビル	1,569	131,032	56,973	43.5	1,603	168,791	72,192	42.8	1,626	170,095	76,094	44.7
店舗ビル・百貨店	339	189,279	72,220	38.2	328	162,628	59,864	36.8	331	156,789	58,148	37.1
ホテル・旅館	116	26,027	6,175	23.7	118	25,316	5,767	22.8	120	24,732	5,464	22.1
集会場・劇場・娯楽場	99	20,361	5,796	28.5	80	15,503	4,088	26.4	89	17,318	5,055	29.2
学校・図書館・研修所	70	2,667	876	32.8	80	2,984	1,051	35.2	73	2,970	1,229	41.4
製造工場・倉庫	151	28,169	15,797	56.1	149	32,295	17,350	53.7	156	32,414	17,184	53.0
合計	2,344	397,535	157,837	39.7	2,358	407,517	160,312	39.3	2,395	404,318	163,174	40.4



◎排出（資源化）状況

単位：トン

		全用途	事務所ビル	店舗ビル・百貨店	ホテル・旅館	集会場・劇場	学校・図書館	製造工場・倉庫
紙類	資源化量	52.5	37.0	155.6	26.4	30.3	13.1	79.4
	処分量	24.1	23.7	31.3	21.8	16.7	7.8	27.6
	計	76.6	60.7	186.9	48.2	46.9	20.9	107.0
紙除く	資源化量	66.3	43.7	201.2	50.9	44.1	16.7	66.3
	処分量	96.7	49.7	348.6	172.7	130.3	22.3	96.7
	計	163.0	93.3	549.7	223.7	174.4	39.1	163.0
総量		239.6	154.1	736.6	271.9	221.3	59.9	270.0

◎資源化率（紙類、紙除く別）

		全用途	事務所ビル	店舗ビル・百貨店	ホテル・旅館	集会場・劇場	学校・図書館	製造工場・倉庫
紙類	資源化率	69%	61%	83%	55%	65%	63%	74%
	処分率	31%	39%	17%	45%	36%	37%	26%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
紙除く	資源化率	41%	47%	37%	23%	25%	43%	41%
	処分率	59%	53%	63%	77%	75%	57%	59%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

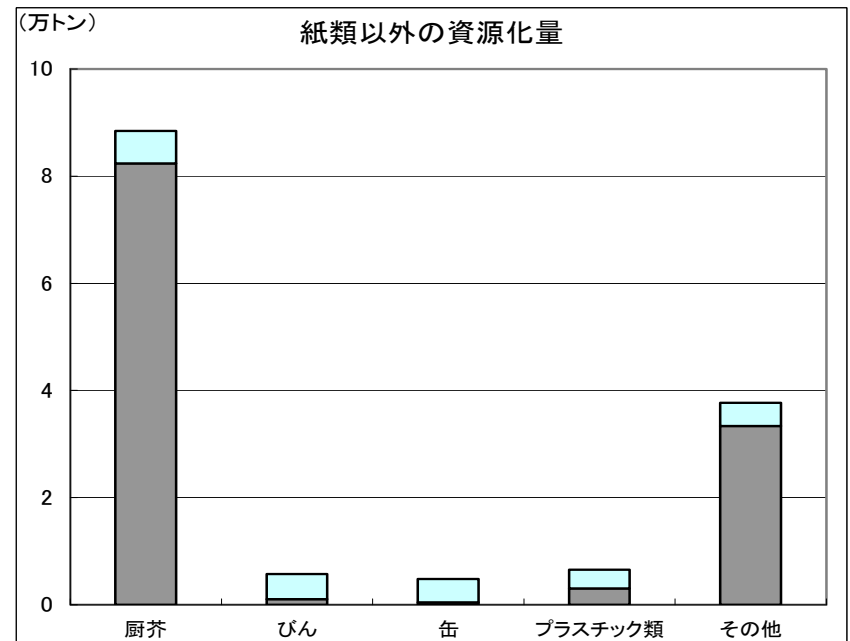
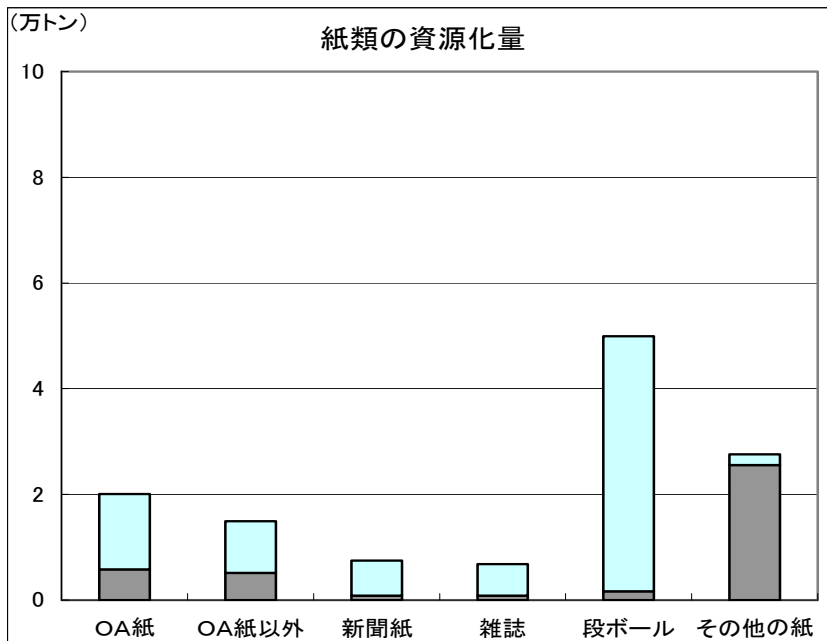
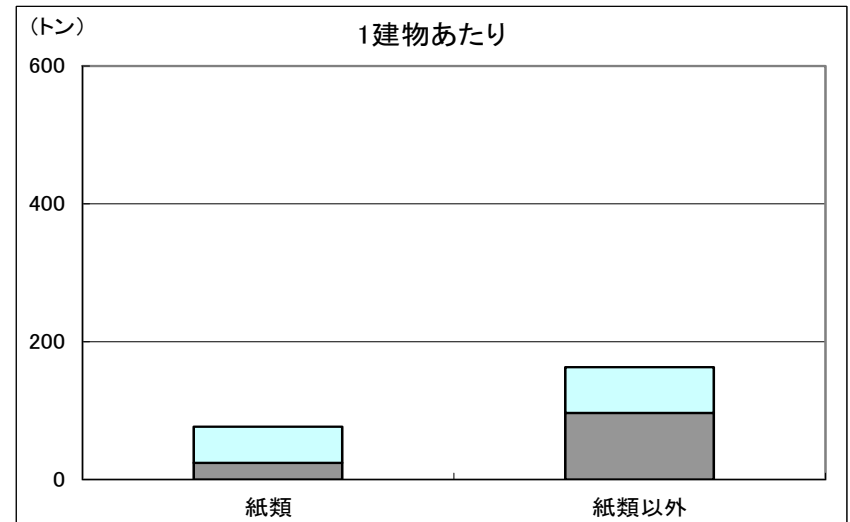
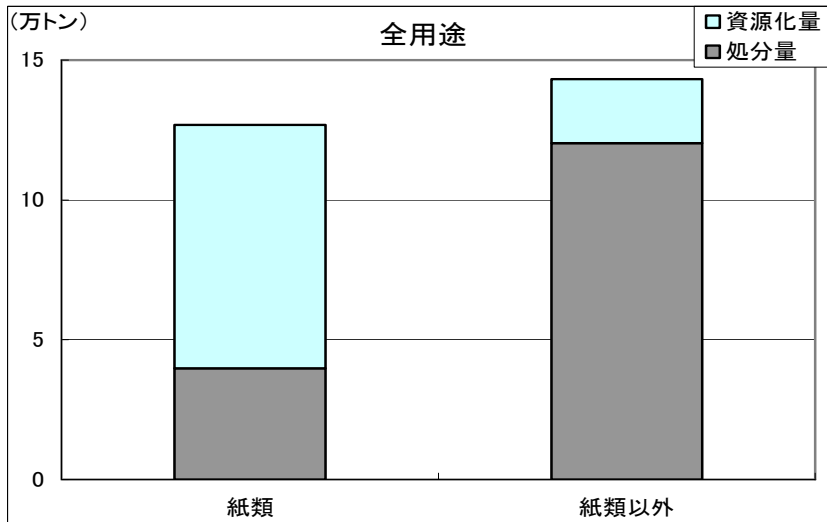
大規模建築物における品目別ごみ発生量等(全用途)

紙類では、「その他の紙」を除くと高い資源化率になっており、紙類以外でも、「びん」「缶」の資源化率が高くなっている。

(平成15年度から17年度のすべての年度にわたり実績報告があった大規模建築物1,656件について集計を行った)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
○A紙	19,441	19,067	20,087	12,845	13,073	14,267	66.1	68.6	71.0
○A紙以外	15,468	15,710	14,913	9,008	9,745	9,754	58.2	62.0	65.4
新聞紙	7,648	7,468	7,448	6,732	6,622	6,610	88.0	88.7	88.7
雑誌	6,531	6,475	6,826	5,534	5,614	5,981	84.7	86.7	87.6
段ボール	48,002	50,134	49,931	45,851	48,202	48,289	95.5	96.1	96.7
その他の紙	28,637	26,778	27,571	1,265	1,468	2,032	4.4	5.5	7.4
紙類の合計	125,727	125,632	126,776	81,235	84,724	86,933	64.6	67.4	68.6
厨芥	92,619	91,026	88,463	6,658	5,698	6,070	7.2	6.3	6.9
びん	7,649	6,525	5,728	6,582	5,610	4,670	86.1	86.0	81.5
缶	4,492	4,243	4,774	3,880	3,705	4,327	86.4	87.3	90.6
プラスチック類	6,121	5,910	6,555	2,855	2,865	3,526	46.6	48.5	53.8
その他	30,038	35,859	37,662	3,843	3,912	4,272	12.8	10.9	11.3
紙類以外の合計	140,919	143,563	143,182	23,818	21,790	22,865	16.9	15.2	16.0
総合計	266,646	269,195	269,958	105,053	106,514	109,798	39.4	39.6	40.7

大規模建築物における資源化状況（全用途）



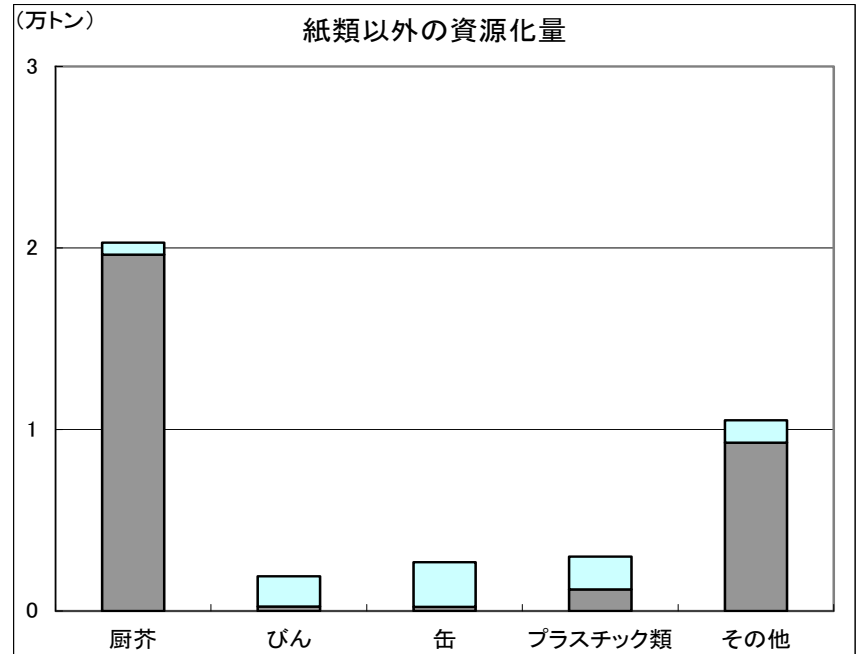
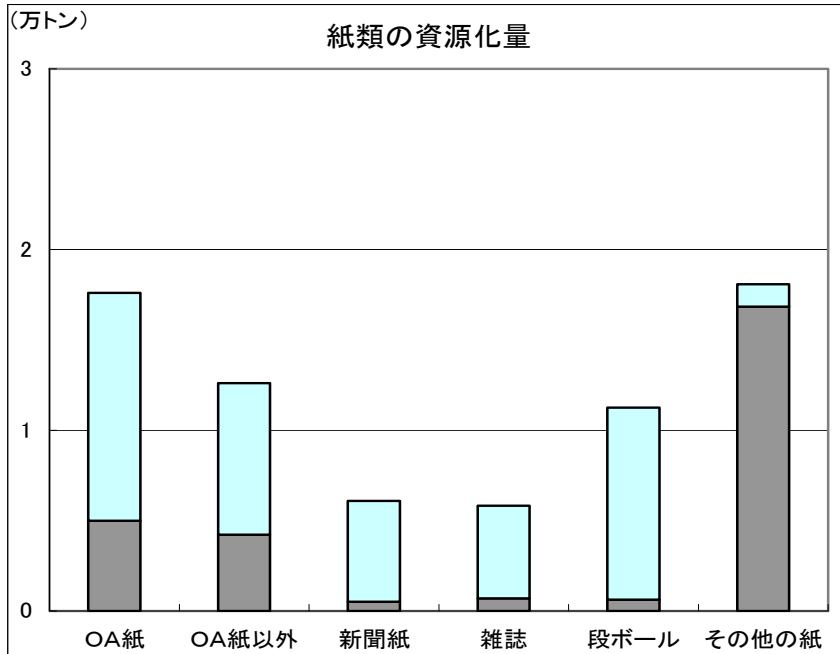
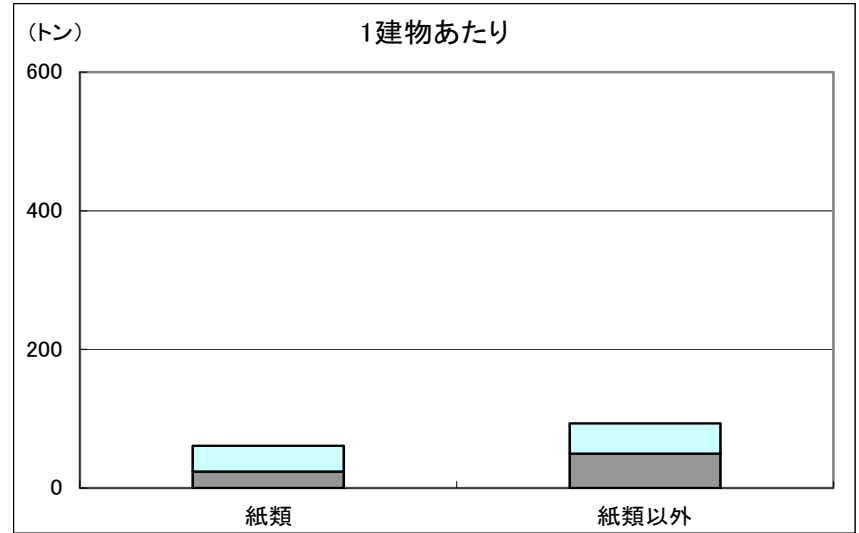
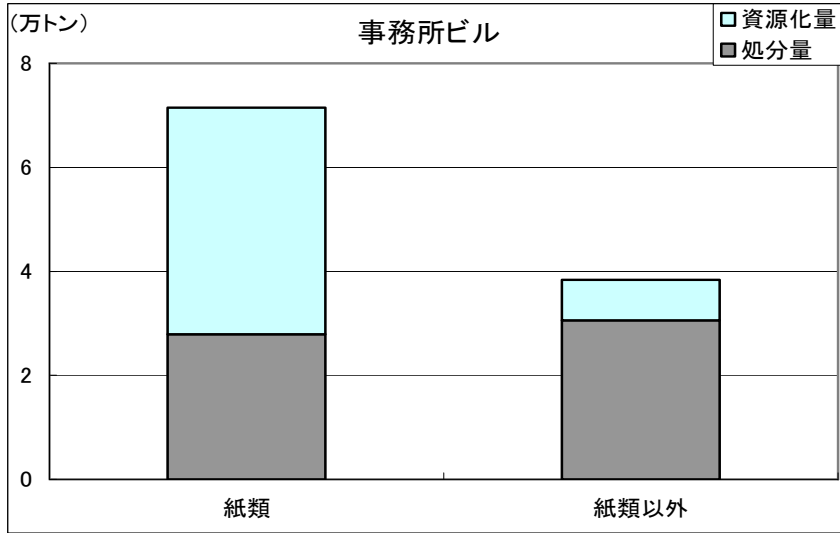
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

品目別ごみ発生量等一覧表(事務所ビル)

(1,177件)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
○A紙	17,098	16,756	17,607	11,374	11,514	12,609	66.5	68.7	71.6
○A紙以外	12,734	13,223	12,603	7,265	8,108	8,377	57.1	61.3	66.5
新聞紙	6,196	6,173	6,095	5,673	5,656	5,579	91.6	91.6	91.5
雑誌	5,562	5,456	5,830	4,784	4,770	5,136	86.0	87.4	88.1
段ボール	10,248	10,738	11,254	9,594	10,140	10,625	93.6	94.4	94.4
その他の紙	18,555	17,234	18,091	755	781	1,241	4.1	4.5	6.9
紙類の合計	70,395	69,581	71,480	39,445	40,970	43,568	56.0	58.9	61.0
厨芥	21,897	20,940	20,291	304	304	655	1.4	1.5	3.2
びん	2,161	1,977	1,903	1,850	1,690	1,661	85.6	85.5	87.3
缶	2,236	2,197	2,678	1,918	1,919	2,446	85.8	87.3	91.3
プラスチック類	2,459	2,537	2,999	1,079	1,212	1,807	43.9	47.8	60.2
その他	6,996	9,390	10,506	918	1,013	1,236	13.1	10.8	11.8
紙類以外の合計	35,749	37,041	38,377	6,069	6,138	7,804	17.0	16.6	20.3
総合計	106,143	106,621	109,857	45,514	47,108	51,372	42.9	44.2	46.8

大規模建築物における資源化状況（事務所ビル）



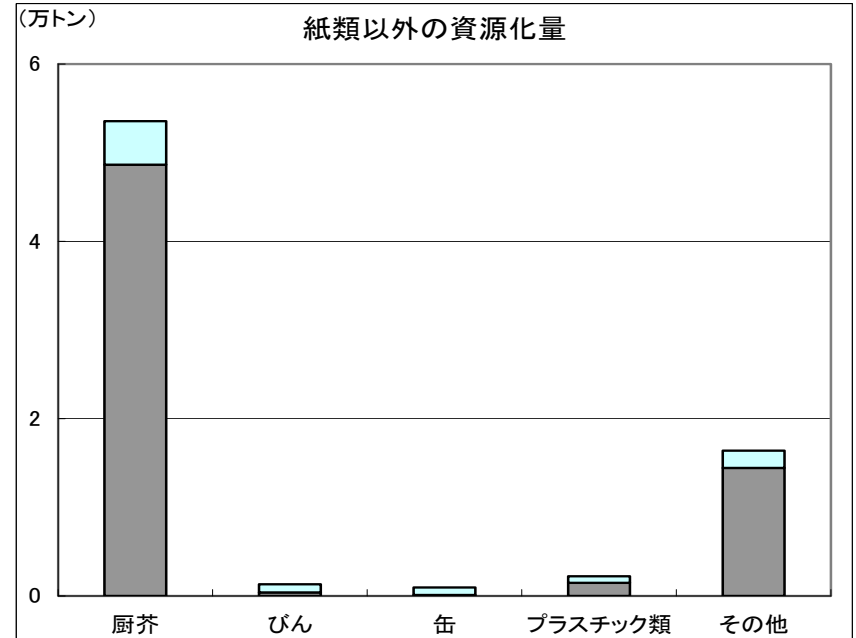
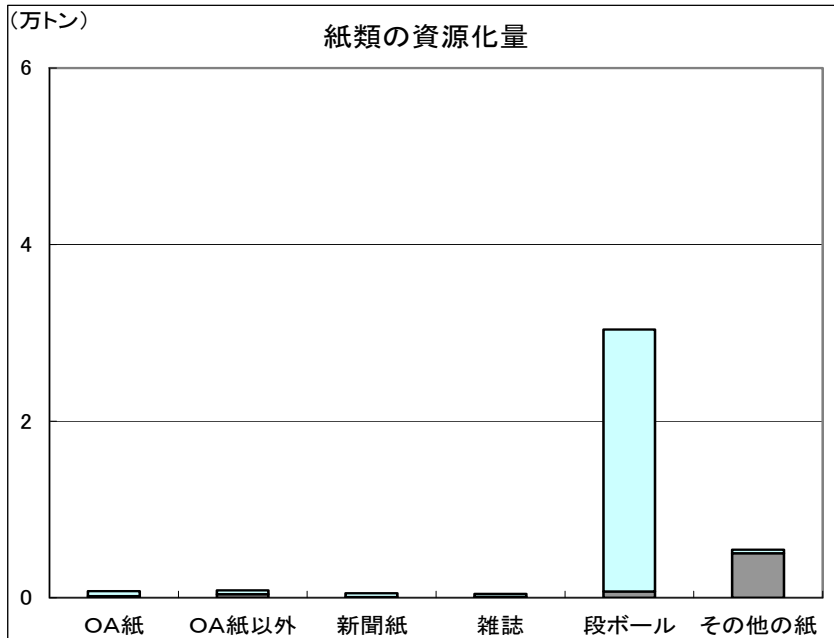
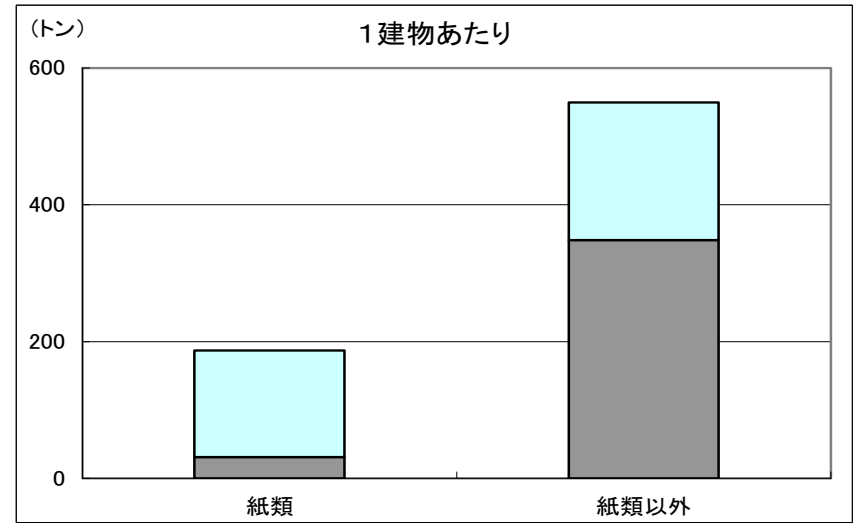
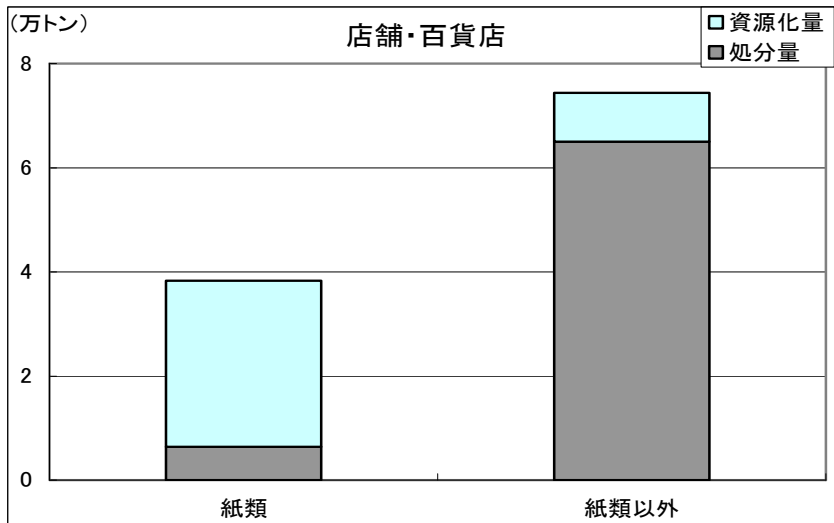
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

品目別ごみ発生量等一覧表(店舗ビル・百貨店)

(205件)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
OA紙	835	759	729	538	572	557	64.4	75.4	76.5
OA紙以外	1,278	1,114	823	778	721	440	60.8	64.7	53.4
新聞紙	528	453	511	418	370	442	79.2	81.7	86.5
雑誌	487	488	426	350	385	333	71.8	78.9	78.2
段ボール	29,031	30,825	30,388	28,043	29,850	29,705	96.6	96.8	97.8
その他の紙	5,799	5,410	5,432	155	302	411	2.7	5.6	7.6
紙類の合計	37,958	39,048	38,309	30,281	32,200	31,888	79.8	82.5	83.2
厨芥	55,594	54,962	53,541	5,926	4,982	4,911	10.7	9.1	9.2
びん	1,707	1,592	1,314	1,501	1,417	934	87.9	89.0	71.1
缶	1,084	898	940	946	771	829	87.2	85.9	88.2
プラスチック類	1,971	2,052	2,196	485	637	726	24.6	31.0	33.1
その他	12,290	15,546	16,392	1,823	1,605	1,948	14.8	10.3	11.9
紙類以外の合計	72,646	75,050	74,382	10,681	9,412	9,348	14.7	12.5	12.6
総合計	110,604	114,098	112,691	40,962	41,612	41,236	37.0	36.5	36.6

大規模建築物における資源化状況（店舗ビル・百貨店）



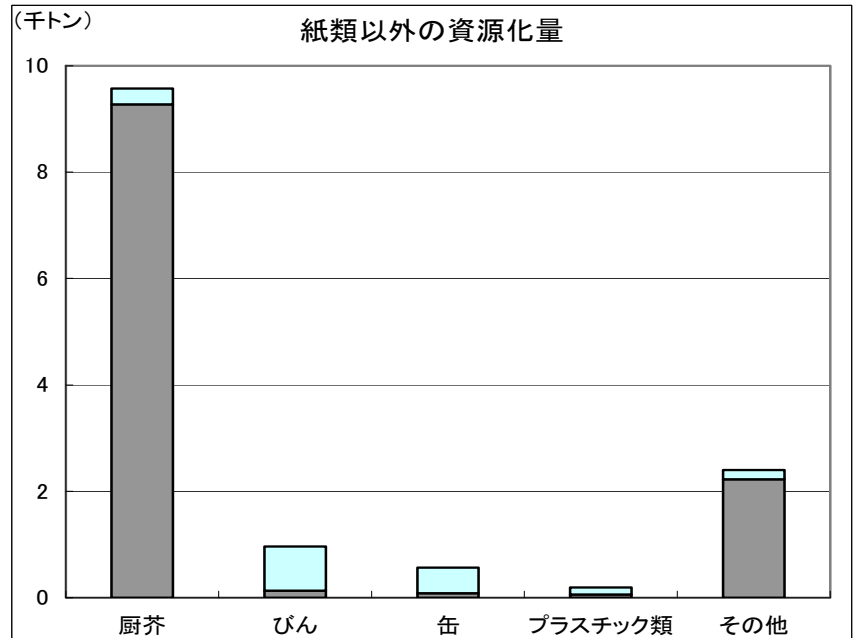
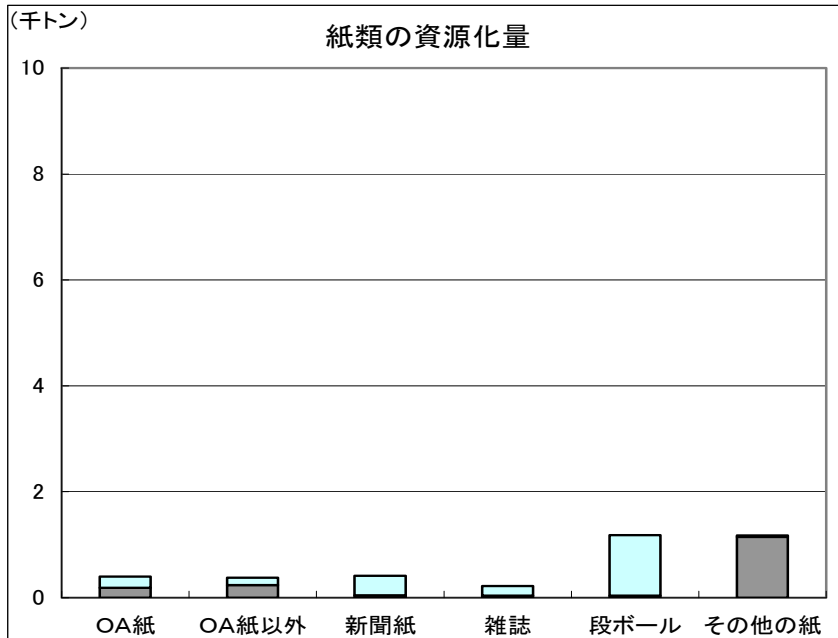
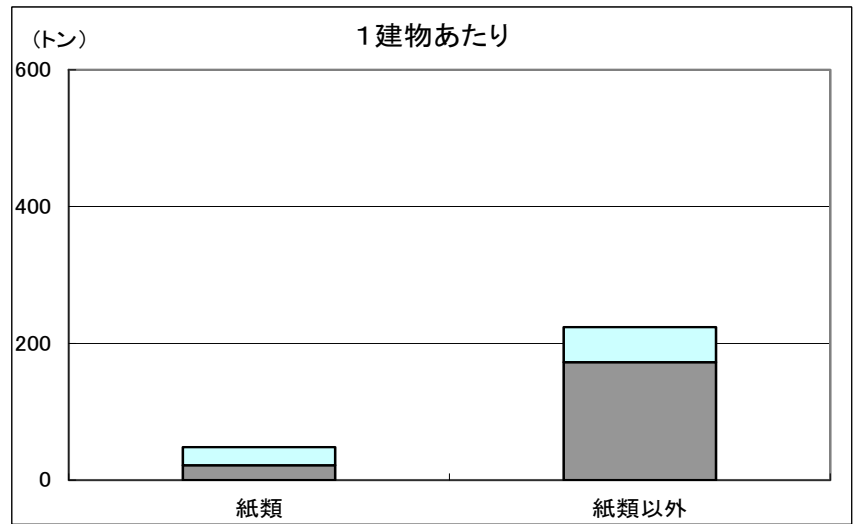
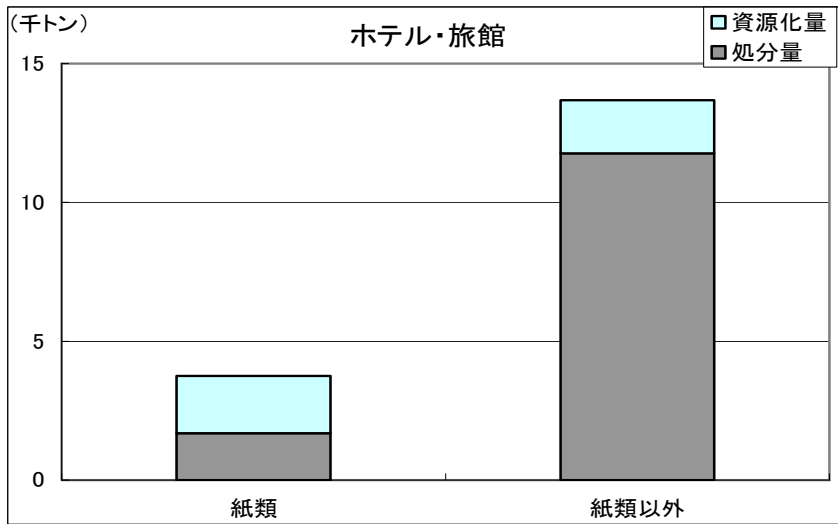
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

品目別ごみ発生量等一覧表(ホテル・旅館)

(78件)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
○A紙	303	282	395	190	175	205	62.7	62.0	51.9
○A紙以外	283	273	376	130	130	140	46.0	47.8	37.2
新聞紙	408	399	411	376	373	367	92.2	93.5	89.2
雑誌	225	242	219	185	203	180	82.3	83.6	82.1
段ボール	1,328	1,283	1,182	1,264	1,223	1,142	95.2	95.3	96.6
その他の紙	1,486	1,363	1,177	4	5	28	0.3	0.4	2.4
紙類の合計	4,034	3,841	3,760	2,150	2,108	2,062	53.3	54.9	54.8
厨芥	9,549	9,594	9,571	313	298	299	3.3	3.1	3.1
びん	1,474	1,181	960	1,310	1,064	828	88.9	90.1	86.3
缶	493	505	565	389	419	484	78.8	82.9	85.5
プラスチック類	160	176	190	95	110	128	59.4	62.7	67.2
その他	2,350	2,577	2,398	141	240	173	6.0	9.3	7.2
紙類以外の合計	14,026	14,032	13,684	2,248	2,130	1,911	16.0	15.2	14.0
総合計	18,059	17,874	17,445	4,398	4,238	3,973	24.4	23.7	22.8

大規模建築物における資源化状況（ホテル・旅館）



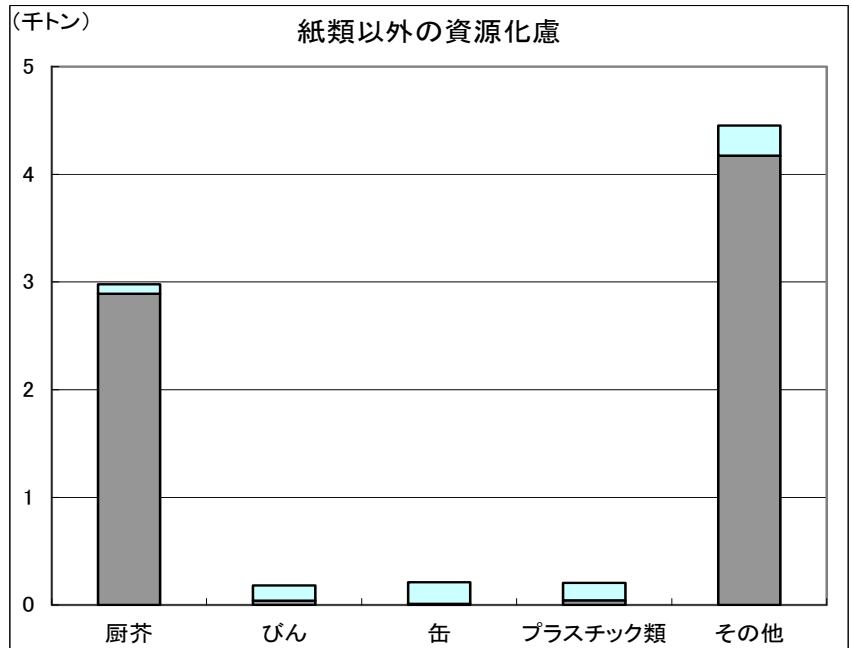
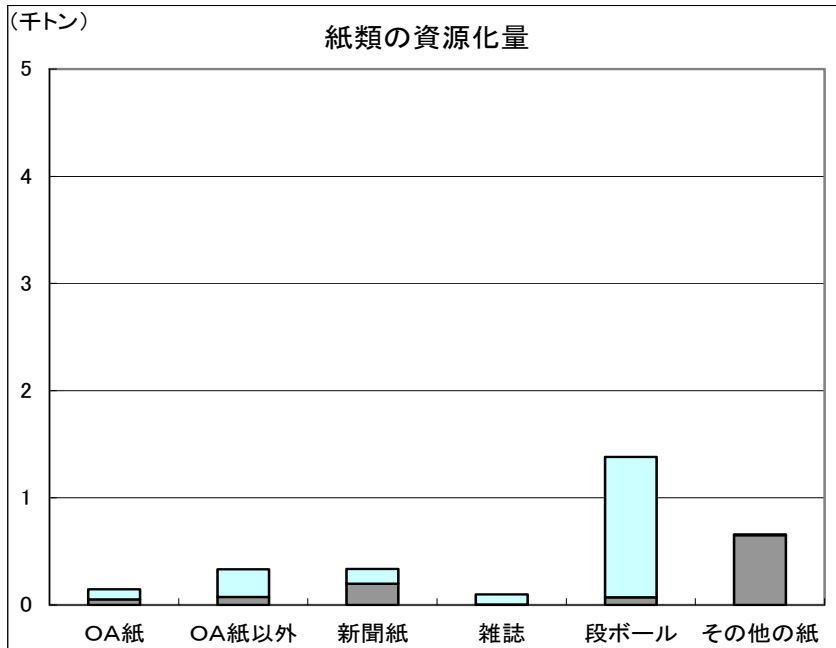
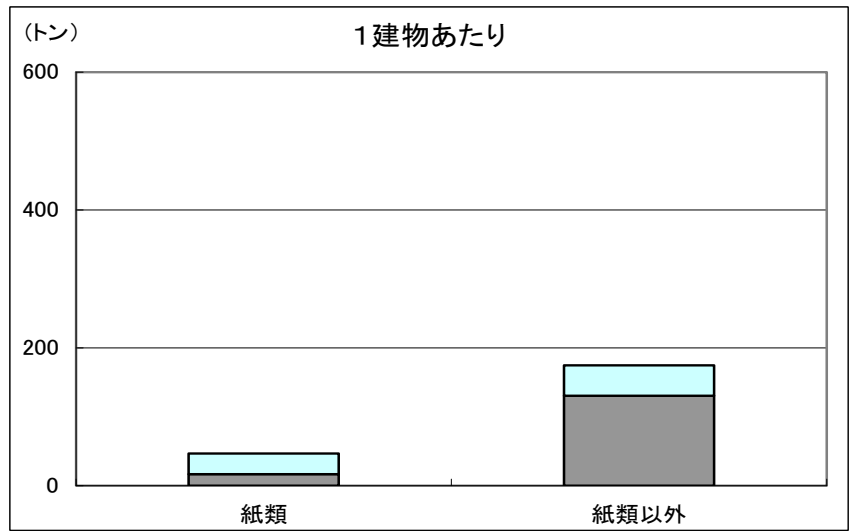
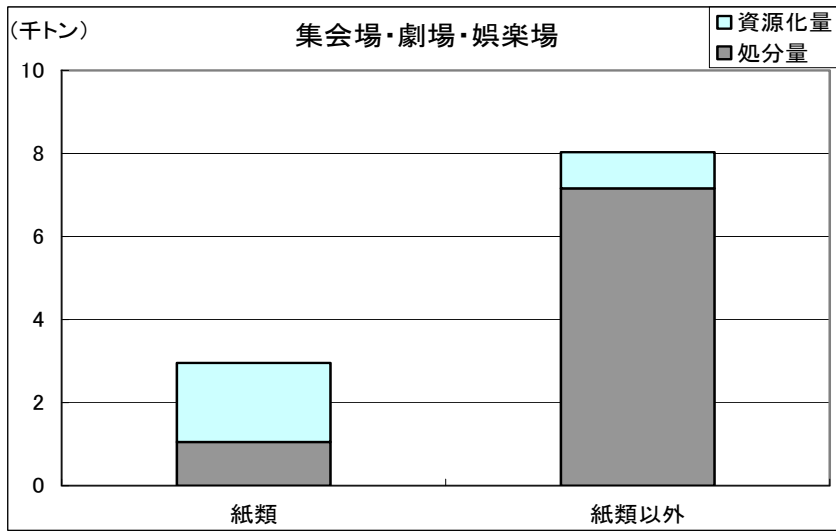
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

品目別ごみ発生量等一覧表(集会場・劇場・娯楽場)

(63件)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
○A紙	138	141	146	112	114	95	81.4	81.0	64.8
○A紙以外	344	315	334	276	255	259	80.2	81.0	77.5
新聞紙	353	347	338	147	150	140	41.7	43.2	41.5
雑誌	94	98	99	88	91	94	93.4	92.3	95.1
段ボール	1,475	1,432	1,383	1,413	1,373	1,312	95.8	95.9	94.9
その他の紙	1,178	933	658	1	2	7	0.1	0.2	1.1
紙類の合計	3,582	3,265	2,957	2,037	1,985	1,907	56.9	60.8	64.5
厨芥	3,433	3,256	2,978	2	1	88	0.1	0.0	2.9
びん	276	219	180	184	154	140	66.6	70.3	77.8
缶	315	259	212	284	227	202	90.0	87.8	95.2
プラスチック類	423	210	205	377	166	160	89.1	79.0	78.4
その他	4,394	4,050	4,454	278	229	280	6.3	5.7	6.3
紙類以外の合計	8,842	7,994	8,029	1,124	777	870	12.7	9.7	10.8
総合計	12,424	11,259	10,986	3,162	2,762	2,777	25.4	24.5	25.3

大規模建築物における資源化状況（集会場・劇場・娯楽場）



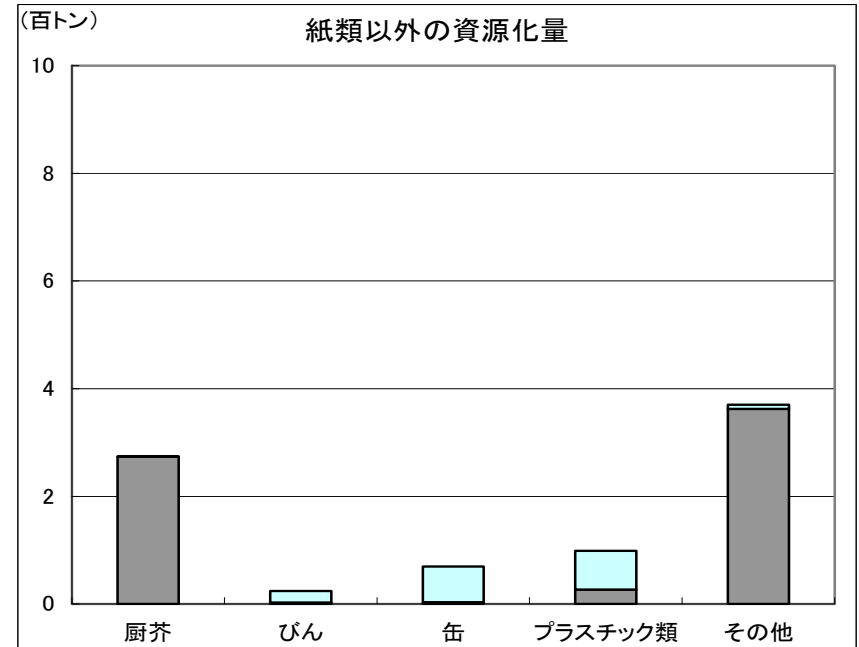
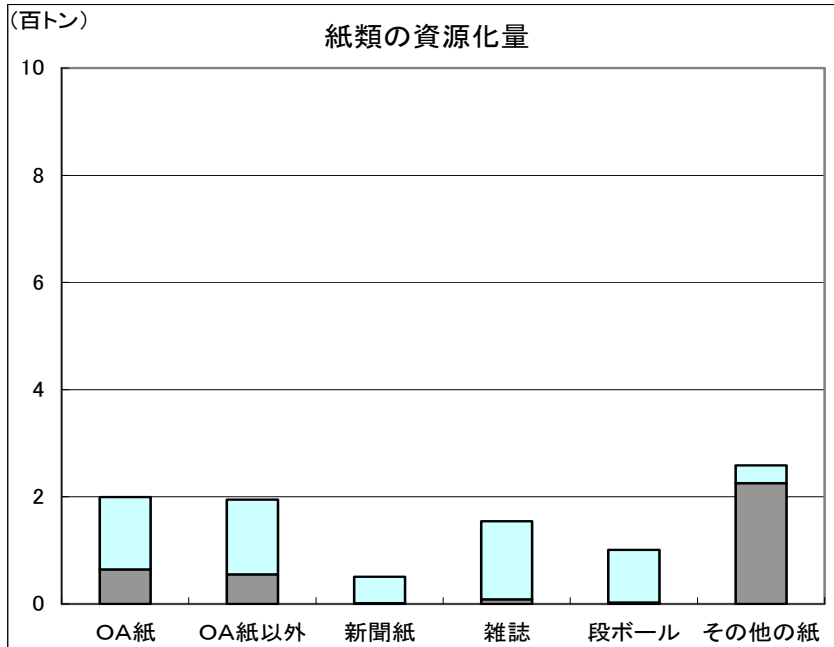
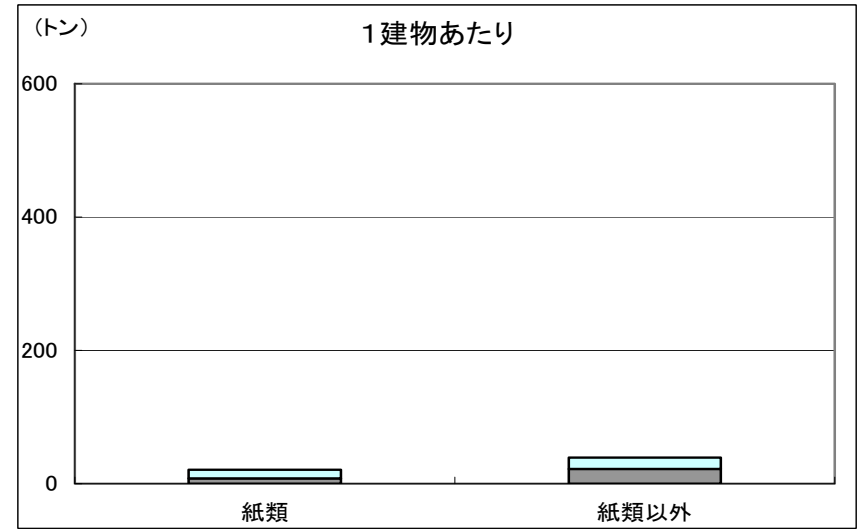
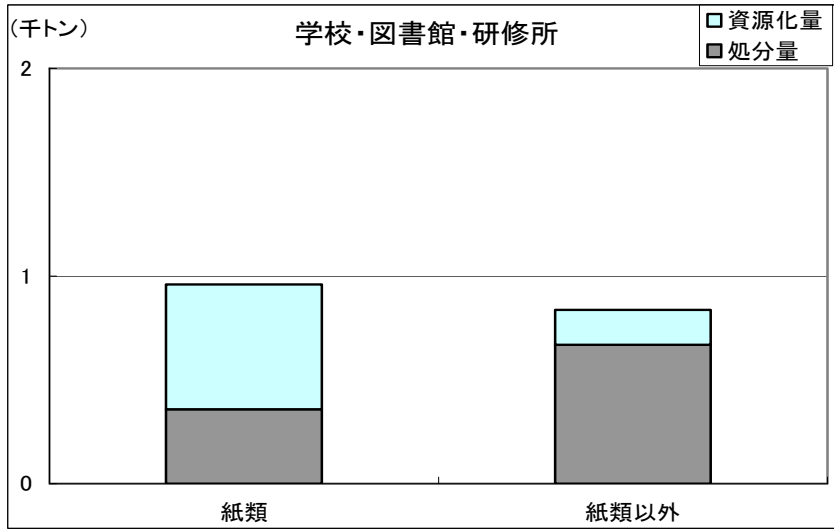
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

品目別ごみ発生量等一覧表(学校・図書館・研修所)

(46件)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
○A紙	142	150	200	71	85	135	49.8	56.9	67.7
○A紙以外	170	159	195	104	105	140	61.1	66.1	71.7
新聞紙	43	51	51	40	49	49	92.3	95.5	97.0
雑誌	101	142	154	90	133	145	89.0	93.7	94.2
段ボール	93	93	101	91	90	98	96.9	97.2	97.3
その他の紙	271	296	259	7	12	33	2.7	4.0	12.9
紙類の合計	820	891	959	402	475	601	49.0	53.3	62.6
厨芥	297	347	274	1	1	1	0.3	0.2	0.3
びん	17	24	24	15	21	21	88.5	89.9	88.7
缶	79	75	70	72	72	66	91.4	96.1	95.1
プラスチック類	83	80	99	60	56	72	71.5	70.0	72.8
その他	342	335	370	6	7	8	1.6	2.0	2.1
紙類以外の合計	819	861	837	154	157	168	18.8	18.2	20.1
総合計	1,639	1,753	1,796	556	632	769	33.9	36.0	42.8

大規模建築物における資源化状況（学校・図書館・研修所）



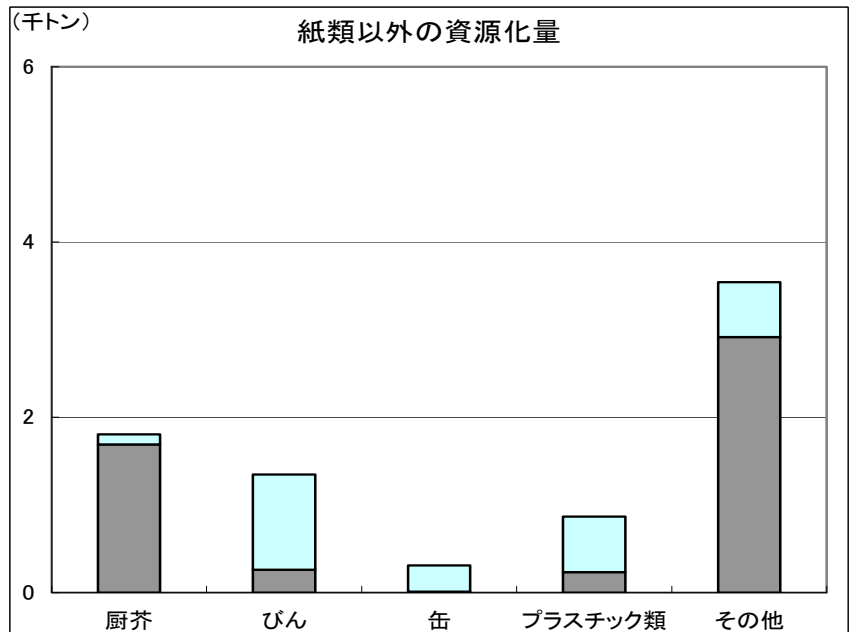
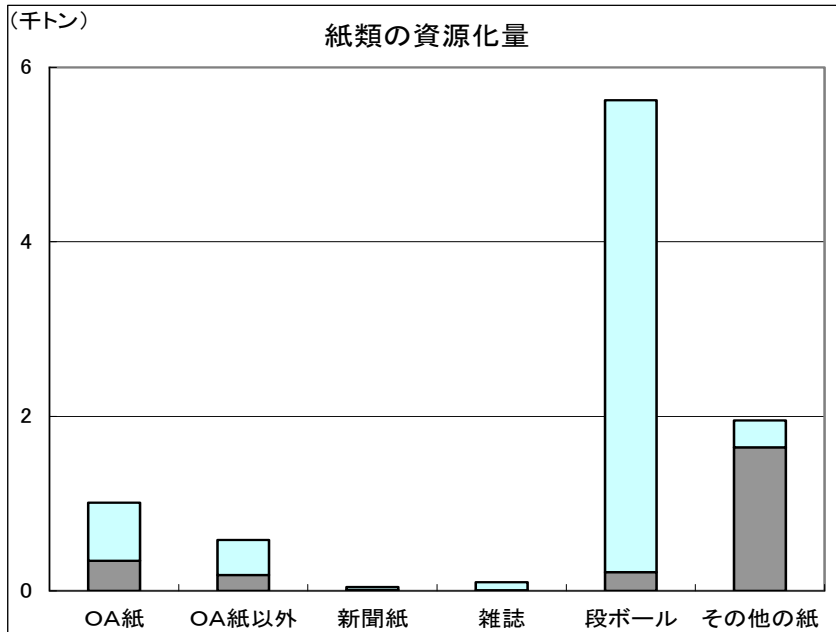
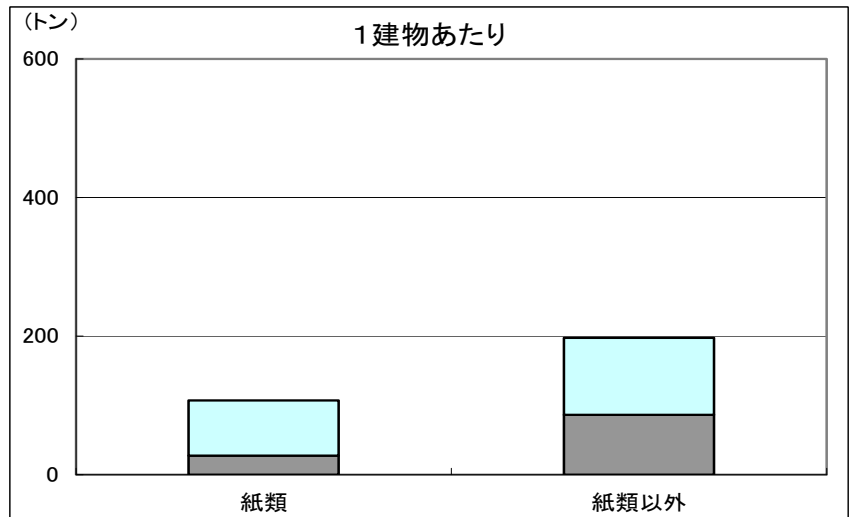
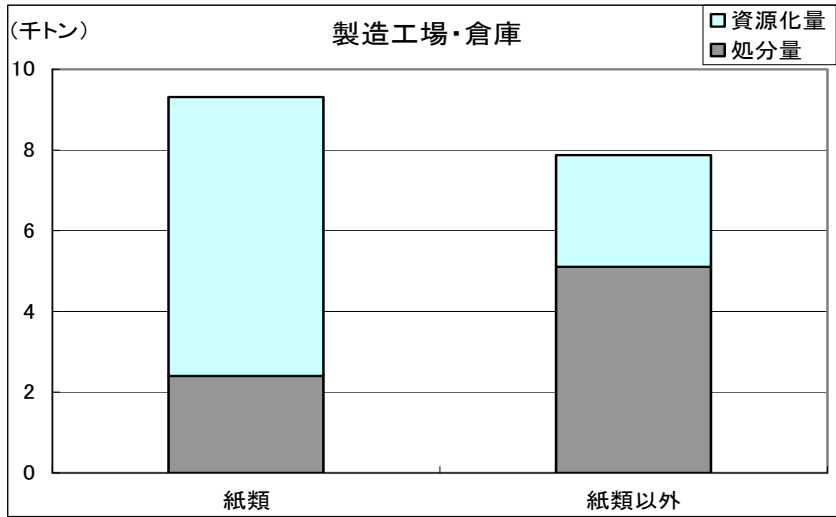
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

品目別ごみ発生量等一覧表(製造工場・倉庫)

(87件)

	発生量(トン)			資源化量(トン)			資源化率(%)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
○A紙	925	980	1,011	561	612	666	60.6	62.5	65.9
○A紙以外	658	626	582	455	425	399	69.2	67.9	68.5
新聞紙	120	45	42	77	24	33	64.2	52.8	77.3
雑誌	61	48	99	36	33	93	59.7	67.7	93.9
段ボール	5,826	5,763	5,623	5,447	5,526	5,407	93.5	95.9	96.2
その他の紙	1,348	1,543	1,954	342	367	310	25.4	23.8	15.9
紙類の合計	8,937	9,005	9,311	6,919	6,986	6,907	77.4	77.6	74.2
厨芥	1,849	1,927	1,807	112	113	117	6.1	5.9	6.5
びん	2,014	1,532	1,347	1,722	1,264	1,086	85.5	82.5	80.6
缶	284	310	310	271	298	301	95.4	96.3	97.2
プラスチック類	1,024	855	867	760	683	633	74.2	79.9	73.1
その他	3,666	3,961	3,543	678	818	627	18.5	20.6	17.7
紙類以外の合計	8,838	8,585	7,874	3,542	3,177	2,764	40.1	37.0	35.1
総合計	17,775	17,590	17,185	10,461	10,163	9,672	58.9	57.8	56.3

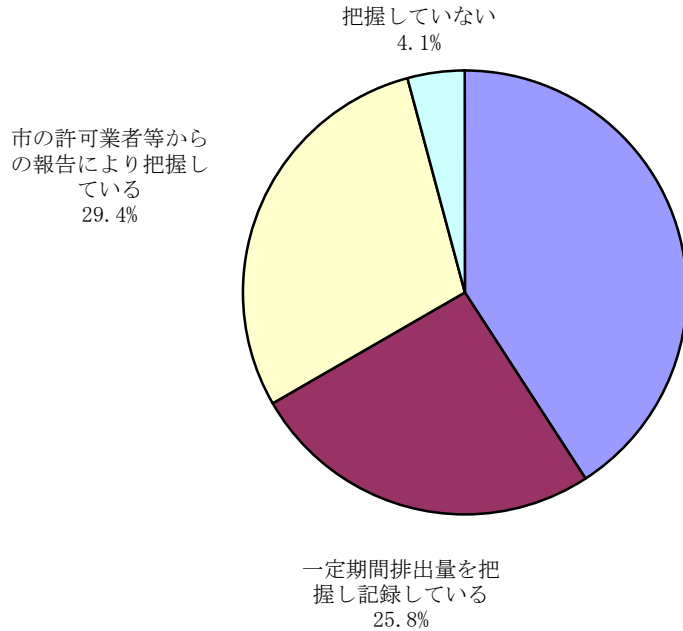
大規模建築物における資源化状況（製造工場・倉庫）



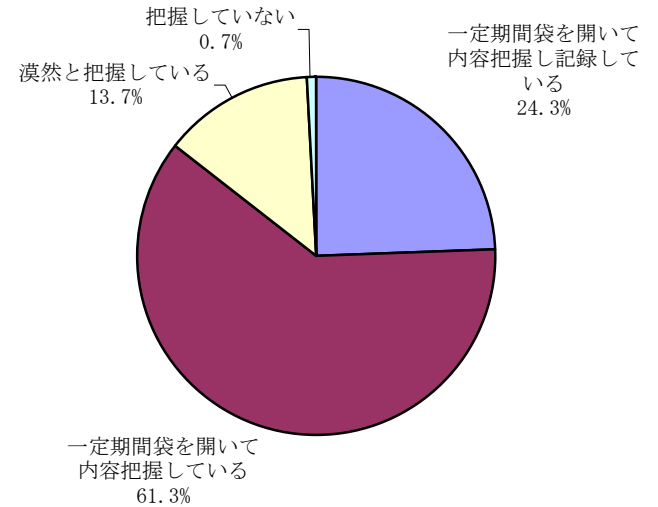
大規模建築物における用途別件数及びごみ発生量等(平成17年度)より

大規模建築物における廃棄物の状況把握について

発生量の把握



廃棄物の内容把握



※ 廃棄物の状況把握について

【発生量の把握】

- ・ 毎日排出量を把握し記録している : 排出量の把握方法として、重量測定のほか、袋数換算を含む。記録簿は立入の際に確認している。
- ・ 一定期間排出量を把握し記録している : 「一定期間」とは「1週間以上」を指す。

【廃棄物の内容把握】

- ・ 一定期間袋を開いて内容把握し記録している : 廃棄物の内容を調査して、記録を取っている。
- ・ 一定期間袋を開いて内容把握している : 記録は取っていない。透明袋の使用等 (平成17年度立入検査結果より)
- ・ 漠然と把握している : 大体こんなものが多いといった程度の把握

大規模建築物における廃棄物の状況把握に係る具体事例

建物用途	建物所在地等	把握方法
事務所ビル	北区 Aビル	一般ごみ(包装紙、チリ紙、弁当箱、飲料紙パック等)、新聞、雑誌、紙(OA紙)、ペットボトル、缶(アルミ缶、スチール缶等)の6区分については、ごみ分別搬送システムにより自動的に計量している。生ごみ、ビン・ガラス、ダンボール、シュレッダー紙等は、ごみ集積場で秤により計量し、記録している。
	北区 Bビル	上質紙、新聞・雑誌、パンフ・カラー用紙、紙シュレッダー、ダンボール、不燃ごみ、缶・びん、ペットボトル、生ごみ、禁忌品に10分類し、ごみ処理室の秤により計量し、記録している。
	淀川区 Aビル	シュレッダー、ダンボール、上質紙、MIX紙、新聞紙・折込チラシ、缶、瓶、ペットボトル、生ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ等に区分し、計量、記録している。
	淀川区 Bビル	ダンボール類、カタログ・雑誌、帳票類(書類類)、缶・びん・ペットボトル、燃えるごみ、燃えないごみ、弁当の空箱に区分し、計量、記録している。
	中央区 Aビル	OA紙、OA紙以外、新聞紙、雑誌、カン、ビン、ペットボトル、一般ごみに区分し、毎日、ビル管理業者が、秤により計量、記録している。
	中央区 Bビル	OA紙、OA紙以外、新聞紙、雑誌・パンフレット、ダンボール、空瓶、空缶、プラスチック類、生ごみ、不燃物、一般ごみに区分し、計量、記録している。
	中央区 Cビル	OA紙、OA紙以外、新聞紙、雑誌、ダンボール、その他の紙、厨芥、ビン、缶、プラスチック類に区分し、計量、記録している。
	中央区 Dビル	OA紙、OA紙以外、新聞紙、雑誌、ダンボール、ビン、缶、ペットボトル、紙類禁忌品、紙類以外禁忌品、厨芥、吸殻に区分し、秤により計量、記録している。
	此花区 Aビル	OA紙、新聞紙、ダンボール、缶、ビン、ペットボトル、廃油、一般ごみ、粗大ごみ等に区分し、計量、記録している。
店舗・百貨店	北区 A店	OA紙、OA紙外、牛乳パック、新聞紙、雑誌、紙コップ、ダンボール、魚あら、びん、缶、ペットボトル、発泡スチロール、プラスチックハンガー、生ごみに区分し、テナントごとにバーコード管理を実施し、廃棄物計量管理システムにより計量、記録を行っている。
	チェーンストア A社	発泡スチロール、ダンボール、廃油、生ごみ、魚あら等に区分し、計量、記録している。

第35回 大阪市廃棄物減量等推進審議会

資料 2

- ・ 第32～34回審議会での議論を踏まえて P1～2
- ・ 大阪市における廃棄物処理(平成17年度実績) P3
- ・ 10kg未満排出事業所、許可業者が収集するアパート・マンション P4

第32～34回審議会での議論を踏まえて

1 これまでの議論のポイント

(1) 大阪市における現状とこれまでの減量施策

- ・ 他都市と比較して事業所数が突出しており、事業系ごみの占める割合が6割(全国平均4割)となっている。
- ・ 中小零細事業者が多い。
- ・ 直営収集＝家庭系ごみ、許可業者収集＝事業系ごみとしてきたが、実態は、混在している部分がある。
- ・ 産業廃棄物の排除や大規模建築物に対する減量指導により、ピーク時(平成3年度)からは減量が進んでいる。

(2) 他都市における減量施策

- ・ 1事業所あたりの原単位では、名古屋市が突出して少ない。
- ・ 名古屋市のほか、横浜市、神戸市、広島市では、焼却工場への搬入禁止物の設定を行っている。

2 現在の取組み

(1) 排出実態の把握

- ・ 10kg未満排出事業所の実態調査。
- ・ 事業系ごみ排出実態調査の実施。

(2) 基本計画に基づく減量施策

- ・ 減量指導対象を、1,000㎡以上の事務所ビルにも拡大。(平成19年4月)
- ・ 中身の見えるごみ袋による排出指導。(平成20年1月予定)

3 今後検討すべき論点

(1) 先進的取組み事例の検証

- ・ 減量施策を積極的に行っている事業所の事例検証。
- ・ 中小零細企業における減量施策の事例検証。

(2) ごみ減量に向けた効果的な誘導施策の検討

- ・ 有料化による減量。⇒ 10kg未満の有料化
- ・ リサイクル促進による減量。⇒ 再生利用可能物の誘導

(3) 家庭系ごみ、事業系ごみの収集区分の整理

- ・ 「公共施設」、「10kg未満」、「業者収集のアパート・マンション」の収集区分の整理

第32～34回審議会での議論を踏まえて

一層の減量のため実効性ある施策 (事業系ごみ)

【これまでの議論】

- ・大規模建築物減量指導
- ・産業廃棄物の排除
- ・名古屋市事例の検証

排出事業者の
課題除去

ごみ減量に向けた効果
的な誘導施策のあり方

資源化促進にお
ける課題の把握

【現状の把握】

実態把握により課題に適切に対処

実態把握に向けた各種調査

事業系ごみ組成

組成分析調査

アパ・マン

アパ・マン現況

10kg未満排出

10kg未満実態調査

事業系ごみの
組成把握

資源化率の
向上

家庭系と事業
系の区分

収集区分の
整理

【小規模事業者に対する取組み】

大阪市の特徴＝中小零細事業者が多い

中小事業者に
対する施策

10kg未満の
取扱

【大規模事業者等に対する取組み】

基本計画に基づく減量施策(平成19年度)

- ・減量指導対象を、1000㎡以上の事務所ビルにも拡大
- ・中身の見えるごみ袋による排出指導(全ての事業者を対象)

《今後の論点(案)》

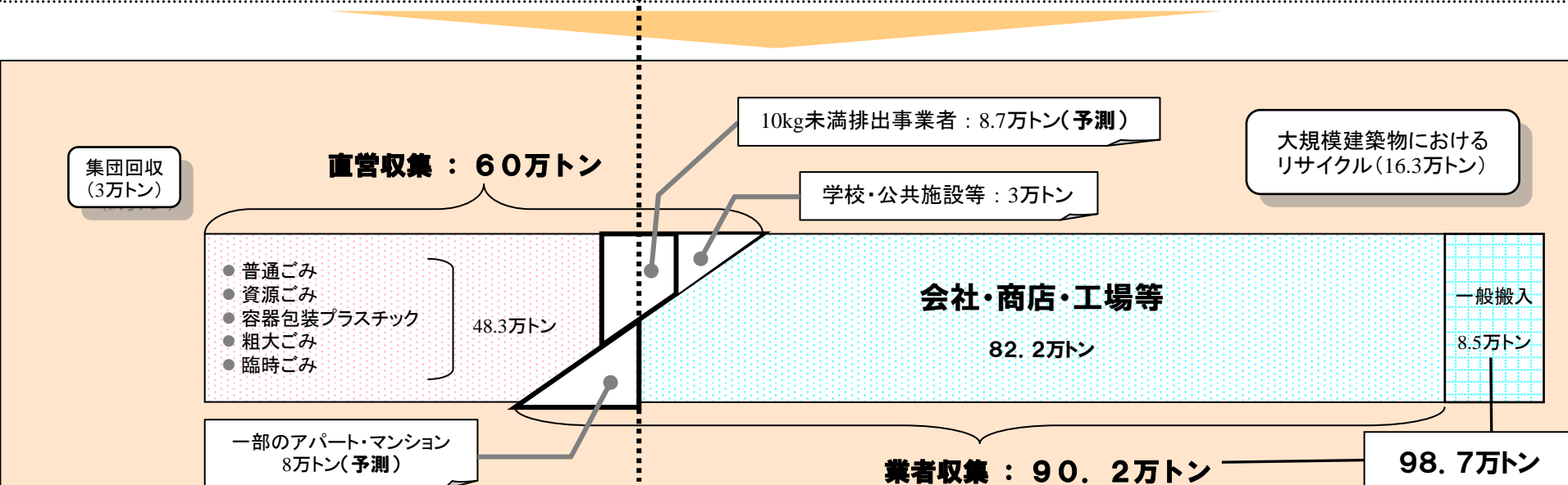
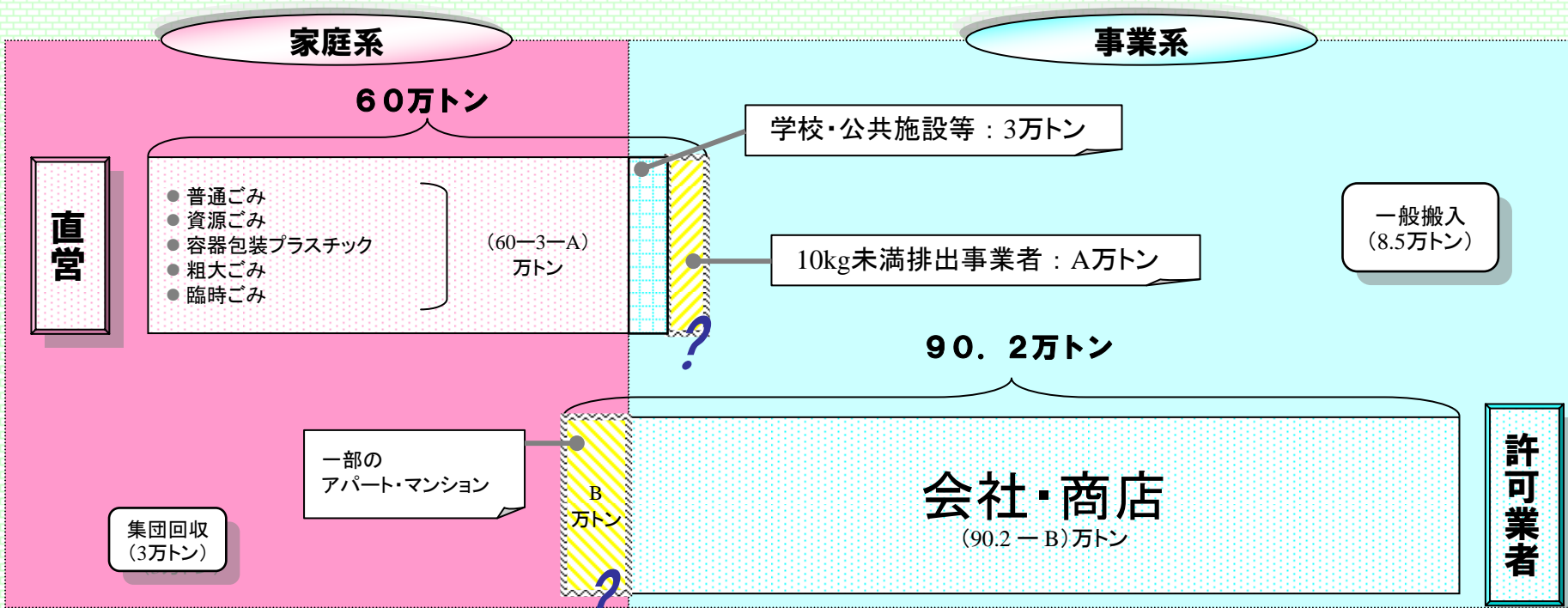
先進的取組み事例の
検証

減量施策の検討

- ・ **有料化による減量**
「10kg未満」の有料化
(事業系ごみ全量有料化)
- ・ **リサイクル促進による減量**

再生利用可能な廃棄物
(焼却工場への搬入禁止物
の設定)

「公共施設」「アパマン」
「10kg未満」の収集区分
を整理



10kg未満排出事業所

○推計量 約87,000t/年

事務所単独	約52,000t/年
住居併設	約35,000t/年

〔対象件数〕

事務所単独	約45,000件
住居併設	約37,000件
計	約82,000件

調査の概要

A. 対象件数

住宅地図を活用し、区単位で「無料扱いの事業系ごみの排出戸数(住居併設と事務所単独に区分)」を集計

B. 1ヶ所あたりの平均排出量

約1000ヶ所(住居併設・事務所単独とも約500ヶ所)の排出源を現地でサンプル調査(週2回)し、区単位で1事業所あたりの平均排出日量を算出

$$A \times B \times 365 \text{日} = \text{推計量}$$

許可業者が収集するアパート・マンション

○推計量 約80,000t/年

※主に民間のアパート・マンションなどで 約11,000件

推定方法

A. 許可業者契約月量の総量に占めるアパート・マンションの契約月量の割合(平成17年度許可業者契約台帳から算出)

8.9%

B. 平成17年度許可業者収集実績

902,230t

$$A \times B = \text{推計量}$$

大阪市廃棄物減量等推進審議会 資料

○大阪市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について(報告)

- ・ 平成18年度収集実績 対前年度比較表

平成18年度収集実績対前年度比較表

(単位:t)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
普通ごみ	17年度	43,965.10	45,422.42	42,560.25	42,403.05	44,146.21	42,136.84	260,633.87
	18年度	42,248.20	48,288.16	44,025.80	44,332.85	44,662.43	43,186.65	266,744.09
	対前年比	96.1% ▲ 1,716.90	106.3% 2,865.74	103.4% 1,465.55	104.6% 1,929.80	101.2% 516.22	102.5% 1,049.81	102.3% 6,110.22
資源ごみ	17年度	2,501.07	2,449.40	2,478.92	2,582.16	2,792.50	2,570.84	15,374.89
	18年度	2,129.24	2,451.72	2,505.43	2,538.43	2,852.04	2,492.36	14,969.21
	対前年比	85.1% ▲ 371.83	100.1% 2.32	101.1% 26.51	98.3% ▲ 43.73	102.1% 59.54	96.9% ▲ 78.48	97.4% ▲ 405.68
容器包装 プラスチック	17年度	1,579.18	1,702.37	1,637.00	1,661.98	1,672.27	1,616.94	9,869.74
	18年度	1,665.59	1,812.82	1,742.34	1,685.03	1,694.14	1,620.69	10,220.61
	対前年比	105.5% 86.41	106.5% 110.45	106.4% 105.34	101.4% 23.05	101.3% 21.87	100.2% 3.75	103.6% 350.87
粗大ごみ	17年度	2,054.60	1,754.49	1,693.19	1,577.79	1,467.75	1,627.80	10,175.62
	18年度	1,885.56	1,998.94	2,365.31	3,042.29	3,975.01	6,723.75	19,990.86
	対前年比	91.8% ▲ 169.04	113.9% 244.45	139.7% 672.12	192.8% 1,464.50	270.8% 2,507.26	413.1% 5,095.95	196.5% 9,815.24
臨時ごみ	17年度	714.46	674.36	700.04	586.95	700.89	734.28	4,110.98
	18年度	806.65	716.15	722.30	633.38	659.45	627.61	4,165.54
	対前年比	112.9% 92.19	106.2% 41.79	103.2% 22.26	107.9% 46.43	94.1% ▲ 41.44	85.5% ▲ 106.67	101.3% 54.56
環境ごみ	17年度	1,951.91	1,973.32	2,003.91	2,017.14	2,074.18	1,898.32	11,918.78
	18年度	1,948.85	2,037.34	1,955.13	1,965.92	1,914.30	1,931.35	11,752.89
	対前年比	99.8% ▲ 3.06	103.2% 64.02	97.6% ▲ 48.78	97.5% ▲ 51.22	92.3% ▲ 159.88	101.7% 33.03	98.6% ▲ 165.89
直営計	17年度	52,766.32	53,976.36	51,073.31	50,829.07	52,853.80	50,585.02	312,083.88
	18年度	50,684.09	57,305.13	53,316.31	54,197.90	55,757.37	56,582.41	327,843.20
	対前年比	96.1% ▲ 2,082.23	106.2% 3,328.77	104.4% 2,243.00	106.6% 3,368.83	105.5% 2,903.57	111.9% 5,997.39	105.0% 15,759.32
一般搬入	17年度	6,888.40	7,041.14	7,799.03	7,770.60	7,763.99	7,488.24	44,751.40
	18年度	6,038.07	6,278.51	6,666.10	6,701.38	6,876.21	6,846.60	39,406.87
	対前年比	87.7% ▲ 850.33	89.2% ▲ 762.63	85.5% ▲ 1,132.93	86.2% ▲ 1,069.22	88.6% ▲ 887.78	91.4% ▲ 641.64	88.1% ▲ 5,344.53
業者収集	17年度	77,402.64	75,122.98	74,932.50	76,763.08	75,573.82	73,724.00	453,519.02
	18年度	75,210.58	75,079.86	74,155.96	75,935.59	73,476.14	71,915.86	445,773.99
	対前年比	97.2% ▲ 2,192.06	99.9% ▲ 43.12	99.0% ▲ 776.54	98.9% ▲ 827.49	97.2% ▲ 2,097.68	97.5% ▲ 1,808.14	98.3% ▲ 7,745.03
事業系計	17年度	84,291.04	82,164.12	82,731.53	84,533.68	83,337.81	81,212.24	498,270.42
	18年度	81,248.65	81,358.37	80,822.06	82,636.97	80,352.35	78,762.46	485,180.86
	対前年比	96.4% ▲ 3,042.39	99.0% ▲ 805.75	97.7% ▲ 1,909.47	97.8% ▲ 1,896.71	96.4% ▲ 2,985.46	97.0% ▲ 2,449.78	97.4% ▲ 13,089.56
収集量計	17年度	137,057.36	136,140.48	133,804.84	135,362.75	136,191.61	131,797.26	810,354.30
	18年度	131,932.74	138,663.50	134,138.37	136,834.87	136,109.72	135,344.87	813,024.06
	対前年比	96.3% ▲ 5,124.62	101.9% 2,523.02	100.2% 333.53	101.1% 1,472.12	99.9% ▲ 81.89	102.7% 3,547.61	100.3% 2,669.76

※環境ごみには、不法投棄、市民協力、街頭ごみ容器、道路清掃(BRP隊含む)、水面清掃を計上。

※一般搬入には本市施設ごみを含む。(告示産廃・他都市ごみは含まない。)

※普通ごみには管路輸送を含む。

※資源ごみには、拠点回収での紙パック・乾電池・蛍光灯の回収量を含む。(集団回収は含まない。)

平成18年度収集実績対前年度比較表

(単位:t)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	上半期+下半期(1月まで)計
普通ごみ	17年度	42,808.33	42,760.46	51,113.85	42,246.37			178,929.01	439,562.88
	18年度	43,981.32	42,573.57	52,321.19	42,775.46			181,651.54	448,395.63
	対前年比	102.7% 1,172.99	99.6% ▲ 186.89	102.4% 1,207.34	101.3% 529.09			101.5% 2,722.53	102.0% 8,832.75
資源ごみ	17年度	2,291.28	2,154.43	2,561.47	2,249.28			9,256.46	24,631.35
	18年度	2,335.31	2,151.69	2,595.60	2,327.97			9,410.57	24,379.79
	対前年比	101.9% 44.03	99.9% ▲ 2.74	101.3% 34.13	103.5% 78.69			101.7% 154.11	99.0% ▲ 251.56
容器包装 プラスチック	17年度	1,618.58	1,578.94	1,817.48	1,611.00			6,626.00	16,495.74
	18年度	1,658.95	1,620.03	1,897.56	1,679.20			6,855.74	17,076.35
	対前年比	102.5% 40.37	102.6% 41.09	104.4% 80.08	104.2% 68.20			103.5% 229.74	103.5% 580.61
粗大ごみ	17年度	1,685.40	1,736.20	1,991.54	1,232.15			6,645.29	16,820.91
	18年度	4,181.86	1,693.41	952.99	846.05			7,674.31	27,665.17
	対前年比	248.1% 2,496.46	97.5% ▲ 42.79	47.9% ▲ 1,038.55	68.7% ▲ 386.10			115.5% 1,029.02	164.5% 10,844.26
臨時ごみ	17年度	673.83	632.35	720.47	485.20			2,511.85	6,622.83
	18年度	558.66	529.35	642.58	413.19			2,143.78	6,309.32
	対前年比	82.9% ▲ 115.17	83.7% ▲ 103.00	89.2% ▲ 77.89	85.2% ▲ 72.01			85.3% ▲ 368.07	95.3% ▲ 313.51
環境ごみ	17年度	2,147.77	2,006.93	2,281.99	1,868.30			8,304.99	20,223.77
	18年度	1,932.72	1,950.82	2,205.75	1,737.79			7,827.08	19,579.97
	対前年比	90.0% ▲ 215.05	97.2% ▲ 56.11	96.7% ▲ 76.24	93.0% ▲ 130.51			94.2% ▲ 477.91	96.8% ▲ 643.80
直営計	17年度	51,225.19	50,869.31	60,486.80	49,692.30			212,273.60	524,357.48
	18年度	54,648.82	50,518.87	60,615.67	49,779.66			215,563.02	543,406.23
	対前年比	106.7% 3,423.63	99.3% ▲ 350.44	100.2% 128.87	100.2% 87.36			101.5% 3,289.42	103.6% 19,048.75
一般搬入	17年度	7,330.94	7,078.00	7,429.90	5,616.58			27,455.42	72,206.82
	18年度	6,670.17	6,216.13	7,323.55	5,609.29			25,819.14	65,226.01
	対前年比	91.0% ▲ 660.77	87.8% ▲ 861.87	98.6% ▲ 106.35	99.9% ▲ 7.29			94.0% ▲ 1,636.28	90.3% ▲ 6,980.81
業者収集	17年度	76,202.54	73,528.47	86,632.07	66,990.12			303,353.20	756,872.22
	18年度	75,111.21	71,727.29	86,166.54	66,266.98			299,272.02	745,046.01
	対前年比	98.6% ▲ 1,091.33	97.6% ▲ 1,801.18	99.5% ▲ 465.53	98.9% ▲ 723.14			98.7% ▲ 4,081.18	98.4% ▲ 11,826.21
事業系計	17年度	83,533.48	80,606.47	94,061.97	72,606.70			330,808.62	829,079.04
	18年度	81,781.38	77,943.42	93,490.09	71,876.27			325,091.16	810,272.02
	対前年比	97.9% ▲ 1,752.10	96.7% ▲ 2,663.05	99.4% ▲ 571.88	99.0% ▲ 730.43			98.3% ▲ 5,717.46	97.7% ▲ 18,807.02
収集量計	17年度	134,758.67	131,475.78	154,548.77	122,299.00			543,082.22	1,353,436.52
	18年度	136,430.20	128,462.29	154,105.76	121,655.93			540,654.18	1,353,678.25
	対前年比	101.2% 1,671.53	97.7% ▲ 3,013.49	99.7% ▲ 443.01	99.5% ▲ 643.07			99.6% ▲ 2,428.04	100.0% 241.73

※環境ごみには、不法投棄、市民協力、街頭ごみ容器、道路清掃(BRP隊含む)、水面清掃を計上。

※一般搬入には本市施設ごみを含む。(告示産廃・他都市ごみは含まない。)

※普通ごみには管路輸送を含む。

※資源ごみには、拠点回収での紙パック・乾電池・蛍光灯の回収量を含む。(集団回収は含まない。)